

## 三菱倉庫

### ・江戸橋歴史展示ギャラリー



#### <日本橋と水>

私たちの事務所のある日本橋は、江戸時代から商業の中心地として栄えてきたところです。その歴史を背負い、いまでも江戸時代から続く老舗や、古くからの神社などをあちこちで見ることができます。

江戸時代には、日本橋に魚河岸がありました。日本橋界限にはいたるところに運河、掘割があり、江戸を支えた水運の中心でもありました。現在は、隅田川に注ぐ日本橋川があるくらいで、ことごとく運河は埋め立てられ、道路やビルになっています。

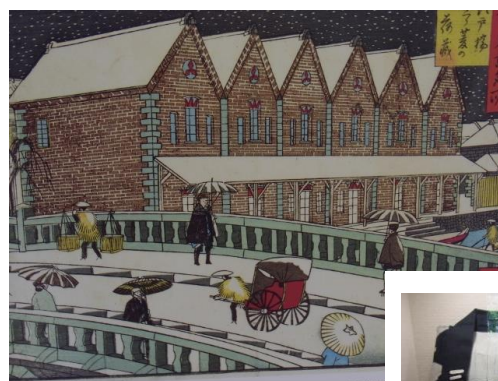
明治になっても、日本橋は水運の中心地で、物資の荷捌き所や倉庫が立ち並んでいました。「三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー」では、その水運華やかかなりしころの歴史を知ることができます。

明治9年（1876）郵便汽船三菱会社の荷捌き所が、江戸橋のたもとに開設されました。この建物は、その後レンガ造りの「七つ蔵」に建て替わり、昭和5年（1930）には、三菱倉庫の「江戸橋倉庫ビル」が建てられました。船のブリッジをイメージした塔屋が印象的なユニークな建物で、平成19年には、東京都選定歴史建造物に指定されました。昭和の初期から、日本橋川の景観を彩る建物として親しまれてきましたが、平成26年には、18階建ての「日本橋ダイヤビルディング」に建て替えられました。

しかし、「江戸橋倉庫ビル」の外観は保存され、1階は「三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー」として公開されています。



明治初期の錦絵にみる江戸橋風景



三菱の七つ蔵

三菱倉庫の印半纏





(左) 日本橋川から直接荷捌きができるようになっていた様子が見える。(中央) 現在の日本橋ダイヤモンドビルディング (右) 1階エントランスは、ギャラリーになっている。

### <日本橋の変貌>

日銀、三井本館、三越をはじめ、日本橋には、歴史的な建造物が多くあります。しかし、東京オリンピックを控えて、日本橋は大きく変わろうとしています。いくつもの高層ビルがここ数年次々と建てられています。オフィス街として発展してきた日本橋は、いまやレジャーと買い物の街へと変貌しつつあります。

1964年の東京オリンピックのときは、日本橋川の上に高速道路が建設され、日本橋川は陽のあたらない川となってしまいました。「江戸橋倉庫ビル」もまた、川との調和を高速道路に阻まれているのは残念です。2020年の東京オリンピックが街をどのように変えるのか、気にかかることです。

(八代 啓一)



首都高の下を流れる日本橋川と日本橋。高速道路地下化の構想もあるが、本当に実現できるのだろうか。

三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

〒103-8630 東京都中央区日本橋1-19-1

日本橋ダイヤモンドビルディング1階

TEL03-3278-6611

ホームページ

<http://chuoku-machikadotenjikan.jp/tenjikan/mitsubishisoko/>

アクセス

■都営地下鉄 浅草線「日本橋」駅下車 D2 出口 徒歩3分

東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅下車 D4 出口 徒歩4分

半蔵門線・銀座線「三越前」駅下車 B6 出口 徒歩5分